

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 3月 9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471700322		
法人名	社会福祉法人 敬羨会		
事業所名	グループホーム さつき		
所在地	広島県府中市木野山町箱田奥前1537-1		
自己評価作成日	平成25年4月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成25年12月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>入居者様・御家族の希望に添いながらホームを我が家のように思ってもらえるような環境作りに力を入れ、期まで穏やかなその人らしい暮らしが出来るようにお手伝いさせて頂き、看取り介護も安心して任せて頂けるグループホームをめざし日々頑張っています</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームさつき(以下、ホーム)は、里山の林間に囲まれた風光明媚な環境の中にあります。敷地内には、法人が運営する高齢者施設が併設され、入居者の安心・安全に係る防災面や生きがい支援行事、地域交流等を協働して企画実施されています。ホームでは、理念に入居者一人ひとりが主役である旨を掲げ、このことを全職員が常に意識して、日々、入居者に寄り添う支援に努められています。また、ホームで看取り支援が行えるよう、体制を整えられています。入居者、家族の意思を大切にしながら、医師、管理者、職員等がチームケアでその支援に取り組まれています。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	社会福祉法人 敬養会の理念に添ってグループホームさつき独自の理念を作っています。朝礼時に職員一同復唱しています	玄関に法人とホームの理念を掲示し、その中で「笑顔で接する」と「その人らしい生活の実現」を掲げられています。その実現に向けて全職員が、常に入居者一人ひとりが主役であることを意識したサービスの提供に努められています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	併設施設の行事に参加して地域の方との交流に努めています	同一敷地内の併設する高齢者施設とともに、地域交流行事を積極的に企画実施し、地域住民との交流に努められています。この交流は、入居者個々の生きがいづくりにも繋がっています。また、地域の敬老会等にも参加し、入居者と地域の人が知り合う機会を大切にされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	在宅介護支援センター連携を摂り地域の高齢者などの暮らしに役立つ様なことがないか話し合いを持つようにしています		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を通じて利用者の状況、行事などのを報告しています。又自己評価・外部評価の資料を回覧できるように玄関先に配置しています	2か月に1回、民生委員や町内会長等の出席を得て、会議を開催し、入居者の状況や福祉制度に関する情報を提供をされています。その意見を基に、入居者へのサービスの質の向上を図っておられます。また、会議で確認した地域ニーズに対して、専門スタッフが訪問相談を実施する等、地域との関係づくりと支援に努められています。	今後は、さらに幅広く活発な意見交換が行えるよう、老人会や警察署員などの参加の呼びかけを行い、より地域との関わりを深められることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進委員会・平成25年第1回府中市地域密着型サービス事業所研修会に参加	市主催の「地域密着型サービスホーム研修会」に参加されています。研修会では、他の事業所との情報交換と市担当課との連携を図られ、ホームからも日常的に行政担当者と介護保険制度等に関する情報の共有に努められています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	勉強会を通じて学ぶ様にしています	身体拘束をしないケアについて、新任職員は必ず外部研修を受講し、ホーム内では定期的な勉強会を開催されています。日常的に拘束をしないケアの実践について、その振り返りを毎日の職員ミーティング等で実施し、入居者一人ひとりを見守り、大切にケアに取り組まれています。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	高齢者虐待防止法関連法について勉強会を通じて学べるようにしています。2012年高齢者虐待防止研修の職員を参加させています		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	個々の必要性を関係者と話し合い、必要な方へは活用して頂ける様にしています。また勉強会を実践していき、職員一同が学べるようにしています		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約書を説明して、ご家族に納得して頂ける様に十分説明を行い、理解・納得して頂けるように努めています		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	ご意見・苦情箱を玄関先に設置しています	職員は家族の来所時や日々の生活の中で意識して家族や入居者とのコミュニケーションを図り、その思いや意見を聞き取るように努められています。例えば、入居者の日常の様子を知りたいという家族の声に、個々の入居者の散歩やドライブ、うどんづくりの様子等、さまざまな場面を写真に残して見てもらう等の工夫をされています。また、介護目標を設定し、常に入居者の思いをどのように形にできるかを協議されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日、ミーティングを実施して職員の意見や提案を聞く機会を設けています	日々のケアにおける入居者への気づきを全職員が「ミーティングノート」に記録・確認し、ケア改善に向けての提案を協議・共有する体制が整備されています。管理者はその提案を積極的に受け入れ、職員とともに入居者支援に結びつけられています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	社会福祉法人 敬養会のDO-CAPシートにて、各自が向上心をもって働けるように努めています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人外の研修には順次受講できるようにしています。また、事業所内外で行われる勉強会の参加しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	管理者が中心となり、地域の同業者と交流する機会を持つように努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様より、ゆっくりと話を聴く機会に設けながら、ご本人様を受け止めるように心掛けています		
		○初期に築く家族等との信頼関係			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	御契約時または面会時に時間を取り、不安な事、ご家族が望んでおられる事を聴く機会を作るようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様、ご家族様の要望を先ず聴き、必要に応じて他のサービス利用も含めた対応に努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員と利用者が一緒にゆったりと過ごす環境作り、介護というよりも、寄り添う介護を目指しています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の一員として、一緒に考え、悩み喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築くようにしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族の協力を得ながら、利用者様の生活習慣を聴き、今までの生活に近い環境を提供できるように努めています	入居者と家族の関係を大切にし、入居者の自宅へ定期的にドライブをかねて帰宅されています。こうした取り組みにより、家族も頻繁に来所される等、家族とホームとの間の信頼関係づくりに努められています。また、家族との関係継続できるよう、訪問時の写真を居室に掲示するなどして工夫をされています。	
		○利用者同士の関係の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を大切にしていき、又個々の生活パターンを理解しながら、ひとつの家族として楽しく生活できるように努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用時に培われた関係を大切にしていきながら、相談・支援に応じるように努めています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望、意向の把握に努めながら。困難な場合には、ご家族の情報も得ながら本人の視点に立ち、ケアをしていくように心掛けています	日常のコミュニケーションの中で入居者の思いに気づき、関わりの中で入居者を受容することの大切さを全職員が意識されています。このことは、日々のミーティングで常に確認し、把握したニーズは職員間で共有、検討し、支援に結びつけられています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	安心して生活できるよう環境を提供していく為これまでの生活パターンやサービス利用の経過などの把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様お一人お一人が出来る事を見つけて、機能維持に努める様にしています		
		○チームでつくる介護計画とモニタリング		入居者一人ひとりの状況について、定期	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人様又、家族の方より話をお伺いしながら、それぞれの意見を反映した介護計画を作成するように心がけています	入居者一人ひとりの状況について、定期往診による医師からの情報や日々のケアの中で職員が把握した課題を計画に反映できるよう取り組まれています。また、家族の思いなど、ミーティング時やモニタリングで確認、協議し、入居者本位のケア計画づくりに努められています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケアの実践などを個人記録に記入し介護計画の見直しやモニタリング時に参考にしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人様または、ご家族の方の要望に応じて、柔軟に対応できるように心がけています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	月に1回程度のボランティアにより、音楽療法に取り組んでいます		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人様又はご家族の方の希望を大切に、かかりつけ医に適切な医療を受けられるように努めています	毎週、医師の定期往診があり、入居者の健康管理を支援されています。また、近隣の総合病院「病院連携室」と密接な関係を持ち、適宜、適切な医療が受けられる体制が整備されています。なお、各入居者は、それぞれのかかりつけ医に受診し、職員が付き添われています。	
		○看護職員との協働			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員による日常の健康管理を心掛けています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族の協力のもと早期に退院できるように病院関係者との情報交換に努める様に心掛ける		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご本人様又、ご家族の方の気持ちを尊重し、事業所として出来る事を考え、かかりつけ医と相談しながら支援していくようにしています	ホームの方針として、看取り介護の体制を整えられています。全職員が経験と学習を積み重ね、入居者、家族の意思を大切にしながら、医師、管理者、職員等がチームケアで支援に取り組まれています。実際の看取りの際には、週1回の連絡を欠かさないように留意しておられます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急マニュアルに沿って対応できるように努めています。又、日々の業務の中で、看護職員から緊急時の対応を聞くようにしています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防計画に沿って安全に避難できるように努めています。山間部に位置しているため、併設の事業所に応援体制を依頼しています	同敷地内に併設する高齢者施設と協働して、年2回の消防(避難)訓練や夜間避難訓練を実施されています。また、自然災害等に備えて食料も備蓄され、防災意識を持たれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様一人一人のプライバシーを大切にしながら、記録などの個人情報も大切に扱うように心がけています	ホームとして毎月、ケアの月間目標を策定し、全職員が入居者一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保を意識した支援を実践されています。また、個人記録の保管・整理も厳重に行われています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自分で決められる事は決めて頂き、難しい事などは、ご家族に相談するようにしています。又は、言葉だけでなく、表情が得られる情報を大切にしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人のペースを大切にしながら、日々の生活を楽しむものにするように努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月美容院に来苑して頂き身だしなみやおしゃれが出来るように支援しています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が楽しい時間になるように、会話を楽しみながら又、食事の片付けなどのお手伝いをお願いしています	食事は、「入居者の満足感を大切にする」を合言葉に、今年の6月から手作りで行っておられます。野菜の皮むきや後片付け等を職員と入居者が協力して準備されています。また、職員は、入居者と同じテーブルを囲み、入居者主体に会話を楽しみ、見守りながら食事をされています。	
		○栄養摂取や水分確保の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	利用者様一人一人に応じた食事形態を取り水分摂取量などの記録して調整に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施しています。又必要に応じて入れ歯の口臭予防に薬剤を使用しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	定時のトイレ誘導、又本人の訴え時や表情などの観察してトイレ誘導に努めています	個々の入居者の排泄パターンを詳細に記録し、職員間で情報共有されています。また、個別支援を心がけ、医師の指示で排泄介助が必要な入居者、観察によりトイレのサインに気をつける入居者等、一人ひとりに合わせた支援を心がけ、押し付けにならない介護を実践されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェックを行い、又便秘予防に努め適切な運動を促すようにしています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者一人一人、ゆっくりと午後より入浴して頂ける様に配慮しています。又リラックスして頂ける時間にする為に、本人のペースを大切にしています	入浴は個浴で、週2回を原則に午後から入れるよう支援されています。浴室にはエアコン等を設置し、入居者の安全に配慮した造りになっています。身体的に湯に浸かるのが難しい入居者は、職員2人体制の介助で入浴を行われています。	
		○安眠や休息の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人一人の睡眠パターンを把握していくようにしています。又、安心して睡眠出来る環境を提供できるように努めています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員一人一人が、薬の目的や副作用などを理解して、利用者様の状態変化の確認に努めるようにしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご本人様の出来る事を引き出し、役割を持って頂く様に支援しています(洗濯・トイレを拭いて頂く事など)		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご本人様の希望時には、野外に出られるようにしています	入居者にとって外出は大きな楽しみとされ、日常的な近所の公園等への散歩やスーパーマーケットへの買い物に出かけておられます。また、年間を通じてホームでは各種行事に伴う外出を積極的に行われています。さらに、入居者の自宅へ定期的にドライブをかねて帰宅するなど、本人の希望や思いに沿った外出を支援されています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金を持つ事により、利用者様が安心される場合には、希望者の方には少額をご本人管理にしています		
		○電話や手紙の支援			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話口に出ただけコミュニケーションを支援しています		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間には、季節の花等を飾ったり、食事作り・おやつ作りの写真を飾って、心和むような雰囲気を作るようにしています	平屋建ての玄関には、花が飾られ、掃除が行き届いたホーム内は清潔に保たれています。食堂と台所、居間は一体的に配置され、入居者が安心して居心地よく過ごせるよう配慮された空間になっています。また、共用の空間の随所に、入居者の心を和ませる写真等を掲示するなど、職員の工夫が見受けられます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間には、畳のコーナーがあり、昼寝をされたり、テレビを見たり出来る様になっています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、ご家族の写真などがあり思い出を大切にした環境を心掛けています	居室には、エアコンや掃き出し戸等があり明るく開放的な造りになっています。また、入居者は、家族と相談しながら使い慣れたタンスや衣類、雑貨等を持ち込まれ、それぞれに居心地の良い空間をつくられています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレの場所などは、利用者の目線に合わせた標識を作っています 又職員が手を出しすぎず、眼を離さず危険がない様に支援しています		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム さつき

作成日 平成 26 年 3 月 19 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の参加者をもう少し幅広く呼びかける。	今後は, 警察署員等の参加を目標とする。	警察署へ参加のお願いをする。	6か月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。